

株式会社 ジェイエフティ

真空金型冷却で鑄造製品の
品質アップに貢献海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドIN
ジャパン

減圧式金型冷却装置

業務
内容より高速でより精度の高い
金型冷却装置を提供

かつてマツダ系列の会社で技術販売をしていた峰本社長は、当時高価だった金型冷却装置をもっと安価で提供したいと考え、ジェイエフティを創業した。以降、鑄造設備や金型の販売を行っていた。中でも引き合いが多いのが、真空式金型冷却装置だ。高真空状態で金型に冷却水を通すことで、クラック箇所からの水漏れを防ぎ、成形サイクルの短縮を実現。さらに配管内の異物や反応物等を、バキュームで一掃できるため品質が向上するのが特長だ。

強み

高い技術開発力で
樹脂業界からも注目

ジェイエフティの強みは高い技術開発力にある。技術顧問にダイハツ工業のOBを迎え、現場のニーズに対応しているからだ。鑄造の場ではヒートクラック（割れ）が発生するが、従来ではその都度製造の手を止めてメンテナンスをする必要があった。また冷却水路は金型から30mmほど離れていたが、同社の製品は5mmまで近づけることが可能。そのため冷却効果が高く、クラックが起きてもすぐに吸引できるため作業が継続でき、作業効率のアップにつながるのだ。また、冷却水の流れが均一でスムーズな点も大きな特長といえる。

以前はアルミダイカストがメインだったが、近年は樹脂業界からの問い合わせが増えているという。高品質を求めて同社を探し当てたという企業もあり、デモ機を貸し出して2時間試し

た後、即決したケースもあるほどだ。



冷却効果（赤線内）できれいに仕上がられたシリンダー断面

サポート
力技術指導やコンサルタントで
継続的なサポートを

優れた機械があっても、使いこなせなければ意味をなさない。特に海外の製造現場では技術指導が大きな課題になっている。ジェイエフティは売って終わりではなく、継続的な技術指導も実施。アジアのある企業は、鑄造開始から成形して機械加工に送る「直行率」が10%と低かったが、同社のアドバイスにより75%にまで引き上げることができた。こうした実績から、同社には「装置を導入したいが、技術指導も一緒にお願いしたい」との依頼が多く、技術面で発展途上にある現場で心強い存在となっている。

今後の
展望技術を伝え
ものづくりに貢献したい

冷却金型が主流ではなかった欧米でも近年は冷却に関心が集まっているが、技術が追いついていないのが現実。「まだまだ改善する余地はある」と峰本社長。現場を知り尽くしているだけに、さまざまな悩みを解決しながら鑄造業界に新風を吹き込みたいべく、グローバルな展開を目指している。

COMPANY PROFILE

株式会社 ジェイエフティ

大阪
23当社の
歴史

平成6年に創業し、鑄造や金型を中心に設備開発をしてきました。平成19年には、減圧式金型冷却システムで池田銀行の「地域起こし大賞」（ニュービジネス助成金）を受賞。当社の自慢の製品で、特許申請中です。おかげ様で引き合いも多く、デモ機を持参し実演と説明つきでアピールしています。今後も生産性と品質の向上を目指し続けます。

まだ歴史の浅い会社ですが、経験を活かして
より高い技術を提供します。

代表取締役 峰本 方幸さん



■主な事業内容

鑄造材料・設備・金型の販売、鑄造技術のコンサルタント等

■主な取引先（納入先）

自動車メーカー、自動車部品メーカー、ダイカスト加工会社等

住 所／〒563-0056

池田市栄町2-1

池田阪急ビル4F

T E L ／072-753-8855

F A X ／072-753-6130

創 業／平成6年11月

設 立／平成6年11月

資本金／1,000万円

従業員／5名

<http://www.supercool.co.jp/>